

みなみそうま



市議会だより

令和8年
5月1日発行

Vol.81

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311

【目次】

常任委員会広聴	2頁
3月定例会議案とその結果	3~4頁
請願、陳情、委員会提出議案	5頁
令和7年度一般会計補正予算の概要	5頁
賛否が分かれた議案	6頁
一般質問	7~12頁
常任委員会閉会中調査・ 3ヶ月間の議会活動	13頁
次回定例会の日程・議会傍聴記・編集後記	14頁

5月中下旬から見頃のハマボウフウ

原町区内小学校PTA会長

との意見交換会

2月13日



文教福祉

テーマ：PTA活動の現状と課題について

問 PTA活動を行う中で、やりがいのある、楽しいと思える事があればお聞かせいただきたい。

答 PTAに入る前はPTA反対という思いであったが、活動を通じ目標や課題解決など、一つの目標に向かってみんなで協力できることが非常に良かったと思う。また、学校での子どもの普段の姿を見る機会があることや、他校の先生や保護者とのネットワークができたことも良かったと思う。

他の意見として、学校の先生の傍にいる所で、親の背中を見せることが大事なのかなと思う。子どもにはそういう背中を見て育ったほうが、将来誰かのために動いてくれる子になってくれるのではないかと思う。実際役員の中には、昔自分の親がやっていたから、私も誰かの役に立ちたいとい

う思いで活動している保護者がいる。

問 市の教育行政に対し、何か思うところがあればお聞かせいただきたい。

答 外で遊ぶ子供たちの姿が見えないことを懸念している。実際自分の子どもも外で遊んでいなく、近所にクラスの子とかがいないがために、放課後に集まって遊ぶという過去には当たり前前の事が無くなっている。先進的な教育も必要と思うが、もっと手前の段階での施策が必要ではないかと思う。

また、部活について、市外の学校で部活をしたいけれども出来ない子どもたちのために、南相馬市で送迎バスを用意し、週末だけでも部活動をしませんかというようなことができる力があると思っている。親が送迎できる環境があれば問題無いが、部活動をやりたいけれどもできないという子どもたちのために、週末だけでも南相馬市でやりませんかということがあっても良いのではないかと思う。



(写真右より)

原町第二小学校PTA会長

大内 雄蔵様

高平小学校PTA会長

鈴木 孝洋様

原町第一小学校PTA会長

黒川 康敬様

石神第二小学校PTA会長

伊藤 敏行様

原町第三小学校PTA会長

近藤 智之様

太田小学校PTA副会長

佐々木 亨様

大壘小学校PTA会長

宮森 佑治様

令和8年 3月定例会

3月定例会は3月4日（水）から30日（月）までの27日間開催され、市長から提出された条例6件、予算26件、人事3件、その他12件の議案47件を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、請願3件中、2件を採択、1件を不採択とし、委員会提出議案2件を原案のとおり可決しました。

令和8年度 一般会計当初予算の規模

489億5,459万円

前年度比 ▲56億円 (▲10.3%)

予算規模

通常事業
382億円

前年度比 +47億円
(+14.1%)

震災関連事業
(東日本大震災等対策費など)

108億円

前年度比 ▲103億円
(▲49.0%)

財源構成

国県補助金、帰還・移住等 環境整備交付基金繰入金、 起債 使用料など 64億円 (前年度比 ▲75億円)	震災復興特別交付税 32億円 (前年度比 ▲28億円)	復旧・復興基金、 みらい夢基金繰入金 9億円 (前年度比 +4億円)	みらいへつなく 復興基金繰入金 3億円 (前年度比 +0億円)	国県補助金、各種基金繰入金、 起債 使用料など 148億円 (前年度比 +41億円)	みらいへつなく 復興基金繰入金 5億円 (前年度比 +0億円)	震災復興特別交付税 (市税減収など) 3億円 (前年度比 ▲3億円)	市税、 (復興特交を除く)税外収入など 208億円 (前年度比 +8億円)	財政調整・減債基金繰入金 18億円
---	--	--	---	--	---	--	---	-----------------------------

予
算

一般会計

歳
出

新庁舎建設事業

35億5千194万円

【事業内容】

分散した市民窓口の集約やバリアフリー化の導入等による市民サービスの向上及び災害対応の拠点施設としての機能強化等を図るため、新庁舎を整備する。

質疑

新庁舎建設事業費はどのくらいか、また物価高騰に対してどのように対応していくのか伺う。

答弁

物価上昇を見越し、建設事業費を97億円とし、その数字の範囲内で進める。

物価高騰に対しては、設計において知恵を絞り、汎用品を使うとか、既存の什器備品等を流用して使い、建物の質を落とさないように見える手法を考えて、シンボリックな建物にしたい。

質疑

今後の事業展開に向けては、地元業者の選定をし進めていくのか伺う。

答弁

市のシンボルである市の庁舎という性質から、地元力を最大限に發揮し後世に残る建物を作りたい。

恐竜化石探索調査・教育普及事業

1千149万円

【事業内容】

鹿島区の相馬中村層群から恐竜の足跡化石が発見されていることから、恐竜を含めた古生物に関する教育普及を充実させるため調査研究を行う。

質疑

市民へ南相馬は恐竜化石が豊富にとれる地域との共通認識の醸成について伺う。

答弁

発掘体験や標本作成、ワークショップ、展示などの体験型事業を通じて地域資源の理解を深める機会を提供する。

質疑

化石の発掘体験等マンパワーが必要なイベントは文化財課のみでは実施が大変で、庁内の部署と連

携していくのか。また、外部の人材や団体を生かす情報発信の可能性を伺う。

答弁 多くの人数を発掘現場に連れていきたいが、安全面や設備上の制約から人数は限定している。また、県立博物館と連携し広域的な情報発信を進めていく。

社会資本整備総合交付金事業（道路新設改良）

2億7千660万円

【事業内容】

幹線道路との機能的な連携により地域の良好な生活環境を確保するため、道路の新設、現道の拡幅及び舗装工事を実施する。

質疑 西町線の現状と今後の進め方について伺う。

答弁 道路用地へ一部編入予定の二級河川笹部川について、一部民地があったが、令和7年度に全ての民地の買上げが終わったとの情報が入っている。今後の予定として、河川法に基づき県から国に提出する廃止手続き、国の了承後の福島県議会での廃止の議決を経

てから市に移管される。

質疑 今後、どのような計画的に進めるのか伺う。

答弁 令和8年度に西町線の測量費を計上している。道路の幅員や構造、ルートなど地元の意見も聞きながら設計に反映させていく。

原案の通り可決。

条例

消防団設置等に関する条例の一部改正

【主な内容】

消防団について、将来にわたり持続可能な組織体制の構築を図るために必要な改正を行うもの。

質疑 定員見直しの検討の経過について伺う。

答弁 東日本大震災、津波被害・原発事故により沿岸部の人口が少なくなり、平成26年ごろ、消防団再編の議論が持ち上がったが、行政区再編の状況を見ながら消防団再編の協議をすることとした。

その後も部に所属している地元消防団員が減ったことで、統合は部分的、個別に進んでいた。令和元年度から改めて組織体制の見直しについて協議が本格化し、様々な考え方がある中、最終的に今回内容がまとまり議案として上程する運びとなった。

原案の通り可決。

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定

【主な内容】

こども子育て支援法の一部が改正され、令和8年4月から新たに乳児等通園支援事業に係る「乳児等の為の支援給付」が創設され、国から「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準」が示された事から、新たに条例を制定するもの。

※乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）とは、保育所等に通っていない0歳6ヶ月から満3歳未満のこどもを対象に月10時間の範囲で通園出

来る制度。

質疑 令和8年から実施可能な民間施設数と地域ごとの需要状況について伺う。

答弁 民間施設は原町認定こども園聖桜の1施設であり、原町区では試行事業実績を踏まえ一定の利用需要が見込まれる。

原案の通り可決。

その他

工事請負変更契約の締結

3件

【主な内容】

本議案3件は、園芸作物集出荷団地整備に係わる建築主体・電気設備・機械設備工事の工期延長とそれに伴う共通費の増加であるため一括で質疑した。

質疑 工期延長の理由について伺う。

答弁 工期を短縮するために、複数の工程を重ねて組んだが、実際に施工計画を立てると、機材を持ち上げる際に地下貯留施設が壊れる可能性がある」と判明し

たため、作業の一部中止・分割が生じた。

質疑 増額になる共通費の内容について伺う。

答弁 国土交通省が定める積算基準により全国共通の内容で、維持管理費、現場代理人・管理技術者の労務費、工事の各種保険などを見込んでいる。

原案の通り可決。

人事

副市長の選任

丸山 光清（原町区 新任）

原案に同意。

教育長の任命

伏見伸一郎（鹿島区 新任）

原案に同意。

監査委員の選任

庄子まゆみ（原町区 新任）

原案に同意。

請 願

第1号 福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の請願

【請願内容】

政府が目標に掲げる2020年代に全国平均を1千500円に引き上げる目標到達に向け福島県最低賃金の継続かつ着実な引き上げを行なうこと、中小・零細企業においても、最低賃金の引き上げが着実に行われるよう、価格転嫁を可能とする環境整備並びに支援策の周知徹底をはかることなど。

【請願者氏名】

日本労働組合総連合会福島県連合会 原町地区連合議長 野本 侑希

採択。

第2号 地域の医師不足解消を求める意見書提出の請願

【請願内容】

新興感染症等発生時の対応、医師の働き方改革の導入、働き方の多様化などの

影響を踏まえ、「医師需給推計」の見直しを行うこと、「医師偏在指標」を基にした「医師偏在対策」をあらため、地域の医師不足を解消するため、医学部定員を増員すること。

【請願者氏名】

福島県民主医療機関連合会 会長 北條 徹
不採択。

第3号 地域医療を守るための医療従事者不足対策及び診療報酬の更なる引上げを国に求める意見書提出の請願

【請願内容】

全国的に十分な医療体制確立が困難な地域に対し、若手医師・看護師等の医療資源の確保が図られるよう養成や派遣に関する支援策を講ずること、地方の医療機関が存続する為にも、物価高騰や人件費上昇を十分に反映した診療報酬の更なる引き上げ及び地域加算の充実を実施すること。

【請願者氏名】

相馬郡医師会

委員会提出議案

会長 新道 譲二
採択。

地域医療を守るための医療従事者不足対策及び診療報酬の更なる引上げを国に求める意見書の提出

【提案内容】

請願第3号が採択されたことから、市議会として国会及び国に対して意見書を提出するもの。

【提出委員会】

文教福祉常任委員会
原案の通り可決。

福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書の提出

【提案内容】

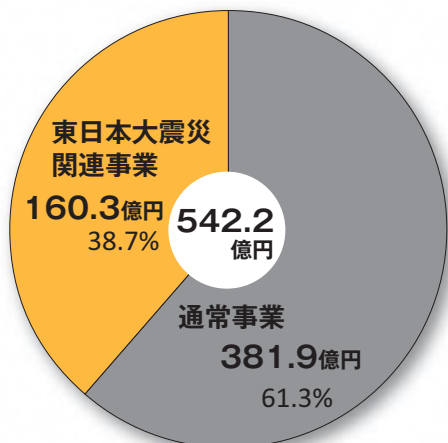
請願第1号が採択されたことから、市議会として国会及び国に対して意見書を提出するもの。

【提出委員会】

建設経済常任委員会
原案の通り可決。

令和7年度 一般会計補正予算の概要

第三次総合計画「7つの政策の柱」に基づく対応、予算可決後に速やかな執行（支出、発注）が必要となる事業など、年度内に緊急に対応すべき予算を計上するとともに、事業計画の見直しに伴う事業費の調整など事業の進捗に基づく予算の整理を行いました。



補正額 ▲45億4,748万円

令和7年度一般会計予算総額

542億1,784万円

令和8年3月定例会で賛否が分かれた議案

議案第8号

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

【議案の主な内容】

保険給付費等の実績に基づく予算の整理などを行うもので、補正額382万7千円を減額し、補正後の歳入歳出総額が78億8千284万3千円となった。

反対



郡 俊彦 議員

震災後、国保税を税法による計算に政策的裁量を加えて集めすぎ、余ったお金18億円を基金に積み立て、それを使って、今、県下で2番目に安い保険税となっている。基金条例では、保険税が高くなりすぎる時だけ取り崩せることになっており、安くするための取り崩しは、基金条例違反なので是正を求める。

賛成



表 信司 議員

反対の理由として基金の原資や繰入れについての話があったが、基金については正規の手続きに則って積み上げられているものと理解している。今回の補正予算の内容は、国・県支出金の決定や不用額の整理、保険給付の実績に伴う補正であると認識していることから、原案に賛成する。

請願第2号

地域の医師不足解消を求める意見書提出の請願

【請願の主な内容】

5ページ「請願」をご覧ください。

賛成



渡部 寛一 議員

本請願は損得ぬきに市民のために活動している機関からです。相双医療圏では医師不足が続いています。委員会結論は国が増員を言わないから、請願を否決するような結論になっています。本市の実情と将来に禍根を残してしまします。今すぐに手を打つために、本請願は採択すべき。

反対



岡崎 義典 議員

医学部定員の増員には同意しかねる。まず医師の養成には最短でも10年を要し即効性がない。加えて、相双医療圏の医療需要は入院が2030年にピークと推計され、外來は既に減少傾向にある。行うべきは医師偏在対策の強化と診療科偏在対策であり、本請願については不採択とすべき。

令和8年3月定例会で賛否が分かれた議案

議案等の名称	議員名	議決結果	尚友会					改革クラブ				志政会		誠心会		無会派						
			大岩常男	山田雅彦	今村裕	細田廣	平田武	太田淳一	田中正	田中京子	鈴木貞正	竹野光雄	小川尚一	渡部一夫	鈴木昌一	岡崎義典	中川庄一	菊地洋一	大場裕朗	表信司	郡俊彦	志賀稔宗
3月定例会 市長提出 予算 議案第8号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月定例会 請願 請願第2号		否	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	欠	×	○

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 回 可決 否 否決 罫 継続審査
○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○ 賛成 × 反対 議 議長 欠 欠席 退 退席

賛否が分かれた議案

一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



今村 裕 議員

夢と希望の持てる
まちづくり



化など、暮らしやす

問 門馬市政の3期目がスタートするにあたり、暮らしやすいまちづくりに対する考え方を伺う。

答 これまで、例えば子育て世代の経済的負担の軽減に努めたことにより、住みたい田舎ベストランキングで全国1位という高い評価を受けたことは素直に嬉し

いと感じている。今後、大局・未来を見据えながら、医療や健康、福祉の充実、産業、仕事づくり、都市基盤の整備、防災体制の強

性能のある分野だと思

いまちを目指すと共に、『楽しく』ということも加えて取組んで行く。

問 震災からまもなく15年が経過するが、今一度、ふるさとの誇りを取り戻すことのできるまちづくりも大切と思うが、考え方を伺う。

答 ふるさと学校や至誠学を意識してもら

らう、相馬野馬追やサーフィン、更に鹿島SAも全国に誇れる施設だし、ロボット、ドローンに加えた第3の宇宙等



岡崎 義典 議員

復興財源を活用した
事業について



3つの区分に整理し

問 震災関連事業のうち令和13年度以降も継続すべき事業がある。令和7年度一般会計当初予算で言えば予算額546億円で1千96事業。私の考えでは、復旧復興関連の基金や国・県の補助金を財源としており、令和13年度以降も継続すべき事業が、150事業で40億円以上ある。これらを、段階的に縮小廃止する事業、令和13年度以降も継続する事業と、仕分けするべきでは。

答 市の単独事業を

て、令和13年度以降も継続する事業と、仕分けするべきでは。

ことが大事では。

1つ目が令和12年度までに完了する事業、2つ目に事業終期未定のうち復興基金などを充当する事業、3つ目に事業終期未定のうち通常事業に戻る事業。このような一定の考え方を早いうちに示す必要があると思

問 事業に関連する市民や団体・企業等に、令和13年度に向けた市の考えを示す

る。1つ目が令和12年度までに完了する事業、2つ目に事業終期未定のうち復興基金などを充当する事業、3つ目に事業終期未定のうち通常事業に戻る事業。このような一定の考え方を早いうちに示す必要があると思

集約と選択を図り、令和13年度以降を見据えた財政運営に取り組んでいきたい。

縮小、廃止される事業については説明等の機会を設けていきたい。もう一つの大きな問題、令和13年度以降における市の基本姿勢は簡単。原発由来の維持費のような続くものは第3期復興・創生期間が終わろうと要望するのが当然と考

答 縮小、廃止される事業については説明等の機会を設けていきたい。もう一つの大きな問題、令和13年度以降における市の基本姿勢は簡単。原発由来の維持費のような続くものは第3期復興・創生期間が終わろうと要望するのが当然と考

える。

その他の質問

- 1 物価高対策について
- 2 旧小高商業高校の跡地の活用について
- 3 市立病院会計窓口の待ち時間短縮について

一般質問

- 1 フロンティアパークの整備について
- 2 子どもたちの第三の居場所について
- 3 公用バスの貸出しについて

一般質問



大場 裕朗 議員

門馬市政が描く、
今後の南相馬市は!!



市長の三期目、第三期復興・創生期間について

問 門馬市長の思いや、注力する事業について伺う。

答 掲げる7つの政策の柱を全て行う事を前提に、暮らしやすいまちを第一に、大局未来を見据えた市政運営を、市民、事業者、国・県・市と力を合わせて行っ

て参りたい。
東日本大震災・福島原発事故から15年について

問 復旧・復興の状況を検証し、市民に

も示すべきと考える

が見解を伺う。

答 前期基本計画での取組の検証、成果を確認する。現状課題を整理し、注力すべき取組を明確にし、後期基本計画の策定に繋げ、今後どのように市民に示していくか考える。

南相馬市民文化会館（ゆめはっと）について

問 市民団体が、ゆめはっとを利用する際に、市として補助

金等で支援すべきと考えるが見解を伺う。

答 学校・幼稚園等に対して、学校等市

民文化会館利用支援

補助金を交付している。

また、市民の芸術文化活動の成果発表等には文化振興助成事業補助金を交付しているが、市民団体からの補助金等の支援の要望、ニーズを捉え、今後制度化ができるか検討する。

その他の質問

- 1 本陣山観覧席にベンチ等を整備すべき
- 2 災害・イベントにトイレカートの配備を
- 3 移動販売業協同組合と災害協定締結を



大岩 常男 議員

こどもと高齢者の
安全・安心対策を!!



すすめ、万全を期す。

問 夜間・休日の緊急保護について、高齢者の生命や身体的に重大な危険の通報や届出があった場合、夜間・休日の緊急保護について市の見解を伺う。

答 通報先や高齢者の身体や経済状況などに応じて対応し、速やかに市と地域包括支援センターが緊急性の判断を協議し、一時保護を含む必要な措置を講じる。

問 市では令和8年度から指定されたごみ袋以外の方法で排出したごみは収集し

ないとは周知している。市民の理解が得られていると考えているのか市の見解を伺う。

ないとは周知している。

市民の理解が得られていると考えているのか市の見解を伺う。

答 指定ごみの袋の利用やごみ排出のルール徹底について市民の理解を得る。様々な媒体を活用して周知し、行政区長並びに南相馬市環境衛生推進委員会とともに連携し周知を図る。

その他の質問

- 1 児童・生徒の全国体力テストについて
- 2 孤独死・孤立死等の現状について
- 3 住宅市街地の大規模火災対策について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



竹野 光雄 議員

小高区再生の 取組みについて



を進めてきたところ

問 小高区の居住人口は令和4年3月で約3千800人となりましたが、その後横ばいとなっています。

答 本年の1月31日では3千81人でありました。今後の人口増への取組みについて伺う。

問 小高区での生活を維持し暮らし続けられる環境を確保するため、生産年齢人口の増加を図る取組みとして子育て環境のおだか認定こども園や子どもの遊び場を開設し、また小高復興産業団地の整備

を進めてきたところであり、一定水準の都市機能が必要であることから、暮らしやすい環境整備に努めていきます。移住先として選ばれるために地域の魅力を発信し「おだか」に関心を持ってもらう等移住者を中心とした人口増の取組みを進めていきます。

要であり、今後の取組みを伺う。

答 住民が移住希望者や移住者をサポートする地域のお世話

人事業に加えて、移住者ウェルカムツアーや移住者交流会を通じて小高の魅力を伝えながら、移住者の定住に努めてまいります。

問 移住者を確保するには金銭的支援、仕事・住まいの提供、そして情報発信や体験等3軸の展開が必ず。一歩進んだ形で受入体制づくりが必

要であり、今後の取組みを伺う。

その他の質問

① 中学校の部活動について

② 浪江町棚塩地区酪農復興牧場との連携

③ フロンティアパーク整備事業について



表 信司 議員

安心して医療を受けられる体制について



かし、総合病院では

問 救急患者の受入れ先が円滑に決まらない要因について伺う。

答 病院全体で「受入れを断らない」を目標として救急患者の受入れに取り組んでいるが、他の救急搬送が重なるなどのほか、重篤な状態で高度な治療が見受けられる場合、三次救急医療機関として福島医大やいわき市医療センターなどでの受診が必要となることとがあり、その場合には受入れが難しくなることがある。し

り、正しい接遇の機

運が生まれ、院内でのよい循環につな

げ、指摘されなくても職員一人ひとりの行動がより良い配りができるような組織になっていくよう務めていく考えである。

問 総合病院の接遇向上に向けての取組みについて伺う。

答 組織全体で良い事例を共有し広めていくことで、良い事例が当たり前にな

ら、総合病院では

相馬管内の約半数の救急患者を受け入れているが、本来は輪番制によって地域で担うのが約束事。輪番以外で受け入れている事実があり、その上でしっかりと救急患者を受け入れた

いとして地域包括ケア病床の休床による成果は出ているものと捉えている。

問 総合病院の接遇向上に向けての取組みについて伺う。

答 組織全体で良い事例を共有し広めていくことで、良い事例が当たり前にな

る。し

かし、総合病院では相馬管内の約半数の救急患者を受け入れているが、本来は輪番制によって地域で担うのが約束事。輪番以外で受け入れている事実があり、その上でしっかりと救急患者を受け入れたいとして地域包括ケア病床の休床による成果は出ているものと捉えている。

その他の質問

① 市民の防災意識の向上について

② 南相馬鹿島サーブスエリア周辺開発について

一般質問

一般質問



志賀 稔宗 議員

南相馬市を東北の 一大研究産業都市へ



研究者等施設来訪者は

14万人以上であり、宿

泊等の直接経済波及

効果、及び宣伝効果

が発揮され非常に有

意義である。産業振

興の観点からロボッ

ト・ドローン関係、

さらに宇宙関連等次

世代産業の集積の呼

び水となっている。

答 福島ロボットテ

ストフィールドは、

世界に類を見ない陸

海空のフィールドロ

ボットの一大開発実

証拠点であり、地域

における新産業創出

に向けた中核的な役

割をはたしている。

問 本市は宇宙関連

産業の将来性に早く

から着目し、関連産

業の集積に精力的に

取組んできた。将来

の宇宙港をめざして

着々と実績を重ねる

ことが重要と思う。

答 市内には多くの

宇宙関連スタート

アップ企業が進出創

業している。実証の

聖地を踏まえ実証試

験を行いやすい環境

を目指す。

その他の質問

① ダンス等学校部活外

の活動推進について

② みなタク等の利便性

拡大について

③ 図書貸出し利用対象

者の拡大について



小川 尚一 議員

ゼロカーボンを目指す 取組について



ワースト2位、その

中で南相馬市は、1

人1日当りの排出量

が、13市中ワースト

1位で、則ち全国最

下位だが減量対応を

伺う。

答 直近の令和6年

度の調査結果で、特

に生ごみの占める

割合が一番多く43.

7%である。生ごみ

処理機設置の報奨金

制度は、令和8年2

月末時点でコンポス

ト1千386件となっ

ている。

問 其の上で、本市

はゼロカーボンを目

指すCO₂削減を目指し

ている。生ごみを有

効活用するバイオマ

スの取り組みとし

て、新聞報道にあっ

た株式会社クボタと

の実証試験の協定を

結んだのか伺う。

答 モデル地区を設

定した実証試験で、

将来的に市全体で実

施するかは現時点で

は未定である。バイ

オマスエネルギーの

活用は必要であり、

今後、情報収集を行

い検討する。

その他の質問

① 総合病院の離職率と、

持続可能な経営は

② 市民から安心と信頼

の得られる病院に

③ 市役所の障がい者の

法定雇用率達成は

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



平田 武 議員

市政の課題について



問 第3期復興創生期の事業と東電の廃炉確認は。人口減少と地域医療体制について。

答 被災者支援交付金で、臨時スクールバスの運行や営農再開支援でフロンティアパーク造成事業と園芸作物集出荷団地を計画。廃炉について、2051年までに完了される様に作業の進捗状況を毎月報告を求め、デブリ取出しについても報告を受け、安全に着実に廃炉が実施される様に求めていく。

人口減少の要因として、当地区に高等教育機関が無く、進学と同時に市外へ流出に繋がっている。それでも本市は、若い世代の転入者が多い状況であるが、若者のUターン施策について検討して行く。

医療体制について、現在若干医師不足の状況にある。同時に診療所医師の高齢化が進んでおり、医療従事者と医療機器の更新に支援をし、寄付講座を通して、医師の確保に努め地域医療維持に努めて行く。

問 中東情勢を受けて化石燃料に代わる資源の調達について。毎年20兆円規模で油、ガスが輸入されているが、いも類を元資に、ガスやエタノールの生産について伺う。

答 バイオマス発電やガス化技術への検討する。

その他の質問
 ①本市の観光の在り方と防災対策について
 ②異常気象、気温上昇の対策について



渡部 寛一 議員

学校給食センターは市直営での運営を



問 給食は教育の環境です。食への理解を深める場であり、旬の食材や地域の食材に触れて、食への関心を高められます。伝統食を知るきっかけになり、共同体験マナーの場であり、協力する心や感謝の気持ちを学びます。鹿島区を除く小中学校給食は、それぞれの学校で調理する自校調理方式でした。市は、原町給食センター整備計画を策定しましたが、根本的に教育からかけ離れています。まず、

各学校での給食施設の改善は「費用対効果の面から困難だ。」としている。
 教育に関わって費用対効果を持ち出すのが。そんな教育委員会は不要です。
 更に調理業務を民間委託にする計画になっています。教育の現場に、利益・利潤の追求を提供するのはですか。
 給食は、市直営で調理し、子ども達に提供・運営すべきです。
答 専門的な技術や経験を持つ業者を活用するので、安全で

各学校での給食施設の改善は「費用対効果の面から困難だ。」としている。

安心できる給食提供が可能です。

給食会計の公開を

教育に関わって費用対効果を持ち出すのが。そんな教育委員会は不要です。
 更に調理業務を民間委託にする計画になっています。教育の現場に、利益・利潤の追求を提供するのはですか。

問 一般会計予算書だけでは給食の全体像が見えません。給食会計の公開をすべきです。
答 保護者等に分かる会計を公開します。

各学校での給食施設の改善は「費用対効果の面から困難だ。」としている。
 教育に関わって費用対効果を持ち出すのが。そんな教育委員会は不要です。
 更に調理業務を民間委託にする計画になっています。教育の現場に、利益・利潤の追求を提供するのはですか。
 給食は、市直営で調理し、子ども達に提供・運営すべきです。
答 専門的な技術や経験を持つ業者を活用するので、安全で

その他の質問
 ①復旧復興用の山土採取地の困窮・不安の解消を求める
 ②地主死亡後の対応を、市民にも知らせるべし

一般質問

一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



郡 俊彦 議員

「みなタク」の制度 見直しについて



く、令和8年度か

あると思うが、かつ

問 見直しのため

「地域公共交通計
画」素案が、地域協
議会に説明され、パ
ブリックコメントに
かけられたが、議会
への説明が無く、市
民もほとんどが内容
を知らない。

問 当時の市民生活

部長が、見込収納率
に関して、案分率
の算出に、①「見込
んだ」、②「30キロ
メートル圏内外は共
に100%に見込んだ」、
③「案分率に見込収
納率は関係しない」
と、二転三転する矛
盾について伺う。

目指すべき将来
像や具体的施策の方
向性を示し、持続可
能な公共交通体系の
再構築を図るため、
策定を進めておりま
す。

具体的施策を反
映した実施計画を策
定し、市民の利便性
拡大などとなる公共
交通の実現に向け取
り組んでまいりま
す。

部長が、見込収納率
に関して、案分率
の算出に、①「見込
んだ」、②「30キロ
メートル圏内外は共
に100%に見込んだ」、
③「案分率に見込収
納率は関係しない」
と、二転三転する矛
盾について伺う。

活部長答弁です。③
の「案分率に見込収
納率は用いていない」
は、令和4年9月定
例会の、市民生活部
長答弁です。
案分率の算出に係
る見込収納率に関し
ては、平成29年12月
定例会にて、市民生
活部長が、14番議員
の質疑に「震災後の
国保税課税に当た
り、収納率は直近の
市全体の実質収納率
を使用」と答弁した
が、それは誤りです
。このため、平成
30年2月22日の全員
協議会に説明した上
で、平成30年3月定

伊達市の「まち
なかタクシー」は、
自宅の玄関先から1
回に付き大人300円、
子どもが150円で、は
るかに利便性があっ
て安い。

伊達市の「まち
なかタクシー」は、
自宅の玄関先から1
回に付き大人300円、
子どもが150円で、は
るかに利便性があっ
て安い。

案分率算定の答
弁に関し、①の「見
込んだ」は、平成29
年12月定例会の、市
民生活部長答弁で
す。②の「30キロ
圏内外は共に100%
で算出」は、平成30
年3月定例会の、市民生

活部長答弁です。③
の「案分率に見込収
納率は用いていない」
は、令和4年9月定
例会の、市民生活部
長答弁です。
案分率の算出に係
る見込収納率に関し
ては、平成29年12月
定例会にて、市民生
活部長が、14番議員
の質疑に「震災後の
国保税課税に当た
り、収納率は直近の
市全体の実質収納率
を使用」と答弁した
が、それは誤りです
。このため、平成
30年2月22日の全員
協議会に説明した上
で、平成30年3月定

安曇野市のデマン
ド交通の1人当たり
の市負担は86.2円、
路線バスについては
47.2円、観光地で
あるがゆえの特性も

安曇野市のデマン
ド交通の1人当たり
の市負担は86.2円、
路線バスについては
47.2円、観光地で
あるがゆえの特性も

安曇野市のデマン
ド交通の1人当たり
の市負担は86.2円、
路線バスについては
47.2円、観光地で
あるがゆえの特性も

安曇野市のデマン
ド交通の1人当たり
の市負担は86.2円、
路線バスについては
47.2円、観光地で
あるがゆえの特性も

現状維持で将来
ではないか。
現状維持じゃな

現状維持で将来
ではないか。
現状維持じゃな

現状維持で将来
ではないか。
現状維持じゃな

現状維持で将来
ではないか。
現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな

現状維持じゃな



渡部 一夫 議員

国保税の賦課に関する 市長答弁について

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

例会で「国民健康保
険税の必要額を求め
る際に、必要額を予
定収納率で割り返
し、税に求める額を
算定するところ、震
災以降は収納率を
100%として算定をし
てきた」という発言」
でもって、平成29年
12月定例会の発言を
訂正しました。

常任委員会閉会中調査

総務生活

未利用財産利活用
推進事業の状況調査

市では、未利用となつている公共施設等の利活用を推進するため、民間事業者の視点

で課題を把握するサウンディング型市場調査を実施し、民間企業等の意見や提案を受け、市場性や活用の可能性を研究しています。

現在、鹿島区の旧八沢小学校及び旧八沢幼稚園で取組みを実施しており、教育や福祉、製造や観光分野などから7社の企業が参加しました。

参加した企業からは小学校校舎全体の利活用のほか、一部施設の利活用の提案があり、今後、公募型プロポーザルや地元説明会を経て、未利用施設の利活用が行なわれていきます。



文教福祉

みちのく鹿島球場サブグラウンド整備事業の状況調査

本事業は、みちのく鹿島球場の利用者である福島県高等学校

野球連盟や南相馬市野球協会等から、選手のウォーミングアップ用のサブグラウンドや選手・観客用の駐車場整備の要望に加え、高校野球の県大会や中学野球大会等の大規模な大会での駐車場不足があることから、みちのく鹿島球場の更なる有効活用として、右田・海老地区圃場整備事業に併せて用地を確保し整備するものです。

整備内容は、クレイサブグラウンド(クレイ舗装)約1万2千㎡、駐車場(普通車191台、大型車5台)、トイレで、令和9年1月供用開始の予定です。



建設経済

小高区商業施設管理運営事業の状況調査

小高ストアは、日常生活に欠かすことのできない食料品や日用雑貨等の販売を行い、小高区の生活環境の利便性を向上させ街なかの賑わい創出や帰還意欲の向上を目的として、平成30年12月6日に開所しました。

開業時間は、午前9時から午後7時までの(月・土曜日)であり、物販スペース・風除室の床面積は、248.5㎡でコミュニケーションスペースは18㎡、来客用トイレ13.6㎡であります。

移動販売は曜日ごとに施設の敷地内や事業所などへ出向き販売を行うなど宅配も受けて直接届けています。今後とも利便性の向上に努めてまいります。

移動販売は曜日ごとに施設の敷地内や事業所などへ出向き販売を行うなど宅配も受けて直接届けています。今後とも利便性の向上に努めてまいります。



12月定例会後から3月定例会までの議会活動

令和8年 1月9日	広報特別委員会
1月14日	広報特別委員会
1月16日	広報特別委員会
1月20日	会派代表者会議 文教福祉常任委員会閉会中調査活動 (みちのく鹿島球場サブグラウンド予定地ほか)
1月21日	議会運営委員会
1月23日	総務生活常任委員会閉会中調査活動 (旧八沢小学校ほか)
1月30日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (小高区商業施設ほか)
2月12日	会派代表者会議
2月13日	文教福祉常任委員会閉会中調査活動
2月19日	議会運営委員会
2月24日	全員協議会
2月27日	議会運営委員会

※場所の表記がないものは、いずれも市役所。

6月の定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
	【本会議】 議案の提出・説明 ほか					
14	15	16	17	18	19	20
	【本会議】 一般質問	【本会議】 一般質問	【本会議】 一般質問	【本会議】 議案質疑 【委員会】 予算決算	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済	
21	22	23	24	25	26	27
				【委員会】 予算決算		
28	29	30				
	【本会議】 委員長報告 (質疑・討論・採決)					

※この日程は変更されることがあります。

本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。

○請願・陳情の提出をされる方へ：6月定例会においては、6月1日(月)午後4時までに提出してください。



(原町区／T. Mさん)

門馬市長の3期目の議会のスタートを傍聴させていただきました。

各議員さんの一般質問は、市長の政治姿勢が多かったようです。議員さんの質問内容は、あらかじめ執行部側に提出されていて、自分の質問時間内でまとめてある文を読み

上げて、執行部が答弁するものと思っております。

ですから、答弁に戸惑うことはないものと考えておりましたが、答弁に苦慮する場面が見られました。

中には、質問の要旨と違うような内容のこれが質問!?、また、質問の内容に答弁が違ような応答があったようです。これは質問の内容を前もって把握できなかったものなのでしょう。

担当者及び、執行部で資料等を閲覧し、質問に答えていたようです。

議員の皆さんは、自分の質問機会までにどのような内容の質問をするかを、調査研究する作業は、大変な労力だと推量いたします。

そして、市民の皆さんも一度議会を傍聴してみたいかですか？議員さんの励みになると思いますよ。

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録(本会議)などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね5日後)でご覧いただけます。

右記のQRコードから市議会へアクセスしてみてください。



編集後記

一般質問のページから本人の顔写真以外の関係する写真やイラストが消えることになりました。今年の1月に南相馬市がイラスト無断使用の著作権侵害で訴えられ、26万3千円の支払い請求を受けたことからです。これは小高区の避難指示が解除された9年前に復興のための冊子を発行した際、その中に無断で他人の作品を使用したためです。無料だと勘違いして使ってしまったと言うことでしたが、相手は法に訴えて来ました。これまで、私たちは議員本人の責任のもとに一般質問等の原稿に写真もしくはイラストを添付し、読みやすく、分かりやすい紙面を心がけて来ました。改めて個人のイラスト等の著作権が保証されている中、うっかりを含めて、他人の作品は使用出来ないと言うことです。

今回の事件を契機に広報特別委員会内で協議をしましたが、今後は写真、イラストを使わず、文章のみと言うことになりました。更に読みやすい紙面を探求してまいりますので、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

田中 一正